

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱいの森

能ヶ谷西緑地だより

2024年 1月 1日号 286号 能ヶ谷西緑地・樹の会



新年明けましておめでとうございます
平和で穏やかな一年でありますように



【1月の予定】

- ◆1月12日（土）（雨天翌日）
 - ・草刈り
- ◆1月27日（土）（雨天翌日）
 - ・花広場苗床作り
 - * 9:00 現地集合（9:00～11:30）
- ◆1月6日（土）（10:00～12:00）
 - ・ヤママユ連手作りカフェー
平和台集会所
 - 問合せ：伊藤（735-8623）
どなたでも参加自由です。
 - 作業には汚れても良い服装でおいでください。

※※※※※※

緑地だより

※※※※※※

12月2日（土） 晴 参加者9名 （臨時作業）

師走とは思えない小春日和。今日は花広場の整理と梅の剪定です。いつの間にかすっかり落葉し、歩くとカサコソ音がしてなんとも気持ちが和らぎます。目を引くのはムベの蔓が伸び、紫色の実がたくさんついていてなんとも愛らしい。そのまま玄関のリースにできそうです。

その後南斜面の梅の剪定でしたが、毎年作業をしているにもかかわらずなかなか向上出来ません。四苦八苦しつつも無事に終えました。寒い冬を乗り越え、春にはきれいな花をつけ、実もつけることでしょう。

お茶をいただきながら、来週の輪飾り、納会のことなどを話しました。
臨時作業でしたが、多くの参加がありました、お疲れ様でした。



メジロ（？）の巣

（蔵部）

【緑地に咲く】キチジョウソウ（吉祥草）



ユリ科キチジョウ属の常緑多年草。関東から九州の林間に自生しています。家に植えて、花が咲くと縁起が良いというのが名前の由来と言われています。

淡紫色の小さな花が穗状に咲くとてもすてきな花です。花の後につく実は紅紫色で、こちらもかわいいです。

（長谷部）

12月23日（土） 晴 参加者 11名

冬晴れのキリッとした朝。薄氷も張っていました。今年最後の活動日。緑地周りの側溝掃除。斜面下の側溝には枯れ葉だけでなく斜面から流れてきたのか土も積もり、熊手とスコップで掬いだす作業。一年でこんなに積もるかと思う程の場所もあり、スコップで掬うのは中々の重労働。掬いだす土は腐葉土になって、ミミズやらカブトムシの幼虫なども顔をだしました。彼等はさぞかしひっくりしていた事でしょう。

こちらは、汗びっしょり。
『今年の仕事納め』、お疲れ様でした。

最後は円陣手繫ぎでXmas songを歌い、お開き。皆様良いお年をお迎えください。

（片野）

【緑地を楽しむ本】

『エコな毎日 暮らしの図鑑』

中嶋亮太・古賀陽子/著 翔泳社



クイズ1：1年間で作られているプラスチックの量はどのくらい？

答：2017年には4億8千万トン、これは世界中の人の体重よりも重いのです！

クイズ2：廃棄されるプラスチックはどのくらい？

答：2017年に廃棄されたプラスチックは3億2800万トン、その半分はレジ袋のような容器包装プラスチックです。使われて数分後には捨てられてしまう…こんな現実を私たちは作り出しているのです。

きちんと分別してゴミに出している人も多いでしょう、でも、道を歩いていてもいっぱい包装用プラスチックゴミが落ちていますね、あれはいずれ海に出ていく、またはマイクロプラスチックになってやはり海に出て行ってしまいます。いずれ魚の量よりも多くなると言われて

います。私たちの子どもや孫は、魚の中にはプラスチックが入っているものだと思って食べるのでしょうか…

どうしたらしいの？というときに手に取ったのが、暮らしの図鑑『エコな毎日』でした。やはり、まず使う量を減らさなくては、ということで、暮らしのあらゆる場面で、プラスチックフリーにする工夫が書かれています。押しつけるのではなく、無理せずに、楽しくやりましょうというスタンスがうれしいです。

本の中の大半は、既にやっていることかもしれません。でも、一つ二つは、“あ、これはできるかもしれない”という工夫が見つかりそうです。今年は新たにそれを実行していこう！と思いました。プラゴミだらけの汚い海にしないため、子ども達がおいしい魚をいつも食べられるように、そして、魚や海の生きものたちが普通に生きていけるように～

(小川)

輪飾り作り & 鶴2小での親子活動「しめ縄づくり」

12月5日（火）の午後は、鶴2小の5年生の親子活動「しめ縄づくり」でした。鶴2小からの依頼を受けたSさんの呼びかけで、樹の会の仲間総勢8人が手伝いに参加しました。



5年生87名+保護者約25名が4人ずつ組になって縄を締めていきます。「〇〇さん、しあわせに！」のかけ声が賑やかでした。この日は時間の制約があり、輪にするまででおしまい。子ども達は家に持ち帰ってどんな飾りをつけてくれたでしょう？

12月9日（土）は中央広場は朝から賑やかでした。藁を分ける人、砧を打つ人、飾り物を机に並べる人…

10時になると1年ぶりの懐かしい顔が集まってきた。皆さん慣れた手つきでしめ縄を作り始めました。ただ、「今日になって開催を知りました」という方もいて、我々の広報が行き届かなかったことを反省しました。12時にはきれいな輪飾りをニコニコと持ち帰ることができました。

2024年が幸多き年となりますように！

(小川)

